※令和３年度以前入学生用

１３　商業

学校番号	T2101

令和５年度　商業科

教　　科	商業	科目	ビジネス基礎	単位数	２	年次	２～４
使用教科書	東京法令出版　ビジネス基礎　改訂版						
副教材など	東京法令出版　ビジネス基礎ワークブック　他						

１．担当者からのメッセージ

・経済社会において中心的な役割を担っている企業が行う経済的な活動について、理解を深めます。
・ビジネスにおける「心構え」「マナー」について、種々の決まりごとを学びます。
・ビジネスは、地球規模で動いています。世界に羽ばたくチャレンジ精神で、ビジネス社会に積極的に挑戦し「夢」の実現させる一助になる授業にしましょう。

２．学習の到達目標

経済の仕組みの中におけるビジネスの諸活動の意義や役割など基礎的な知識と技術を身に付け、経済社会の一員として必要とされる望ましい人間関係、倫理観などを身に付ける。

３．学習評価（評価基準と評価方法）

観点	a．関心・意欲・態度	b．思考・判断・表現	c．技能	d．知識・理解
趣旨	ビジネス活動に関心を持ち、適切な対応を目指し主体的に取り組もうとしているか。	ビジネス諸活動への適切な対応を目指して思考・判断を基礎的な知識を基に判断し、表現する能力を身に付ける。	ビジネスにおける基本的な「心構え」「マナー」を身に付け、ビジネスへの活動に適切に対応し活用できる。	ビジネスに関する基礎的知識を身に付けビジネス社会の一員として望ましい知識、心構えについて理解している
評価方法	・演習ノート ・レポート ・ビジネス基礎に対する	・定期考査 ・演習ノート ・レポート	・定期考査 ・演習ノート ・レポート	・定期考査

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４．学習の活動

月	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の評価基準	評価方法
			a	b	c	d		
4月	第1節 商業の学習ガイダンス	・商業を学ぶ目的と学び方 ・商業の学習分野と職業	○			○	a）商業の諸活動に関心を持っている b）商業の学習と職業の進路について思考を深め、考えを表現している c）資料を収集し理解している。 d）商業の諸活動について基本的なことを身に着る	定期考査 演習ノート レポート 出席 態度
4月 5月	第2節 ビジネスとコミュニケーション	・ビジネスに対する心構え ・良好な人間関係とコミュニケーション ・ビシネス情報の入手の仕方 ・ビジネス活動を活用する方法	○	○	○ ○	○ ○	a）ビジネスマナーに関心を持っている b）ビジネスの諸活動を適切に判断し表現視する能力を身に付けている。 c）ビジネスマナーの技能を身に付けて適切に活用できる d）情報を入手し活用する方法を理解する。	定期考査 演習ノート レポート 出席 態度
6月	第3節 経済と流通の基礎	・経済の基礎 ・ビジネスの発展 ・流通の意義と役割 ・売買業者のビジネス ・流通活動とマーケティング	○ ○ ○ ○	○ ○	○	○ ○	a）経済やビジネスの担い手について関心を持ち理解している b）流通・ビジネスの担い手の意義・役割について思考を深め、考えを表現している c）経済的活動・ビジネスの担い手に関する資料を収集し整理・理解している。 d）流通やビジネスの担い手の知識を身に付け流通の意義や役割について基本的なことを理解している	定期考査 演習ノート レポート 出席 態度

※令和３年度以前入学生用

7 月	第4節 企業活動の基礎	・企業の形態と経営組織 ・資金調達 ・ビジネスの担当者 ・企業活動と税 ・雇用		○ ○ ○	 ○ 	 ○ 	a）企業活動や企業形態に関心を持っている。 b）企業の雇用形態・倫理観について知識を深め適切に判断し表現できる。 c）企業形態に関する資料収集を行い理解整理している。 d）形態・組織・資金調達及び税に関し理解している。	定期考査 演習ノート レポート 出席 態度
8 月	第5節 ビジネスと売買取引	・売買取引の方法 ・代金決済の方法 ・電子取引と代金決済 ・ビジネス計算の基礎	○	○ ○	 ○ ○	 ○ 	a）売買取引・ビジネス計算に関心を持ち売買契約の意義について探求しようとしている。 b）売買契約の意義・条件・締結履行などについて知識技術を適切に判断し考えを表現している。 c）ビジネス計算の基本的な技術を身に付け活用している。 d）決済に関する知識がある。	定期考査 演習ノート レポート 出席 態度
後期は実施しない								

※　表中の観点について　a：関心・意欲・態度　　b：思考・判断・表現
　　c：技能　　d：知識・理解

※　原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。